

社会の「いきいき」のために

社会貢献活動

「自然と社会と人間との調和」をめざし、環境教育や学生支援など、さまざまな社会貢献活動を推進しています。

動画募金を通じた寄付を実施

2015年2月にインターネット動画募金*を実施し、公益社団法人日本環境教育フォーラムに386,195円、NPO法人中部リサイクル運動市民の会に313,815円の寄付を行いました。

インターネット動画募金に際しては、当社が実施する環境教育活動である、宝酒造「田んぼの学校」(P.21-22参照)や宝酒造「エコの学校」(P.23)の様子をそれぞれ3分程度にまとめた動画をご覧頂きました。

※動画閲覧者が、スポンサー企業の提供する動画を閲覧後募金ボタンをクリックすることによりスポンサー企業が選定した支援先団体に無料で寄付できる仕組みです。スポンサー企業はクリック数に応じた金額を支援先団体に寄付します。



インターンシップの実施

“ものづくり”を学ぶ職場体験の場を提供

職場体験を通じて企業活動や組織について理解を深め、自分の適性や能力に見合った職業を選択する意識を醸成してもらうことを目的に、大学生と大学院生を対象としたインターンシップを1998年から実施しています。2014年度は外国人留学生1名を含む8名を受け入れ、「商品企画のプロセスから“ものづくり”の考え方を学ぶ」をテーマに、商品コンセプトの設計や市場データの調査、試作品の製作などを体験していただきました。

実施年度	2010	2011	2012	2013	2014
インターンシップ受け入れ人数(名)	12	8	8	8	8

ペロタクシーに協賛

ペロタクシーは、1997年にドイツの首都ベルリンで「環境にやさしい新しい交通システムと動く広告が一つになった乗り物」として開発された自転車タクシーです。日本での運行は、NPO法人ペロタクシー・ジャパンが京都でスタートさせました。

宝酒造では、気候変動問題の啓発にも役立つペロタクシーに共感し、2002年の走行開始以来毎年協賛しています。また、2013年には現行のペロタクシーの車体がドイツ製であるため購入コストが高く日本の道路事情からするとやや大きいという課題を解決するために日本の事情にあった国産初のペロタクシーの開発にも協賛しました。

2014年度は、従来のドイツ製の車体に加え2014年11月より走行を始めた国産のペロタクシーの広告協賛を実施しました。



試乗会の様子(第22回ハスフェスタin万博公園)



国産ペロタクシー試乗会の様子(京都カーフリーデー2014)

囲碁大会「宝酒造杯クラス別チャンピオン戦」開催

日本の伝統・文化を大切に伝承する宝酒造は、囲碁とお酒が楽しめる囲碁大会「宝酒造杯クラス別チャンピオン戦」を公益財団法人日本棋院と共同で開催しています。

「宝酒造杯」は初心者の方でも全国大会を目指せる、日本最大級のクラス別アマチュア大会で、クラス別に対局できることに加えて、試飲やクイズラリーなどのイベント、プロ棋士の指導碁、サイン会なども催される盛りだくさんの大会です。2014年度は10カ所12回の地方大会ならびに決勝の全国大会あわせて前年より約800人多いのべ7,412人の方にご参加いただきました。



「宝酒造杯」の様子

アースデイ東京・ロハスフェスタin万博公園に協賛

4月19日、20日の両日、代々木公園で開催された日本最大級の環境フェスティバル「アースデイ東京2014」に協賛出展しました。また、4月25日～27日に万博記念公園で開催された「ロハスフェスタin万博公園」にも協賛出展しました。

多数のNPOやNGOのブースが立ち並び、当社の展示ブースでは空容器問題への取り組み（P.26参照）や宝酒造「田んぼの学校」(P.21～22参照)、宝酒造「エコの学校」(P.23参照)、タカラ・ハーモニストファンド (P.24参照) などの取り組みを紹介しました。



宝酒造の展示ブースの様子

「3R推進功労者等表彰」で内閣総理大臣賞を受賞

空容器問題に対する当社の取り組みが、平成26年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰（以下、3R推進功労者等表彰）で内閣総理大臣賞を受賞しました。

3R推進功労者等表彰は、リデュース（発生抑制）、リユース（再利用）、リサイクル（再資源化）に取り組み、顕著な実績をあげている企業、学校、団体、個人などを表彰するもので、3R推進協議会が都道府県や環境団体から推薦された中から選出します。今回は全国114件の応募の中から当社が内閣総理大臣賞を受賞しました。



3R推進功労者等表彰式

グループ会社の取り組み 大平印刷

カラーユニバーサルデザイン

大平印刷では、色弱の方をはじめ、あらゆる方に見分けやすい配色「カラーユニバーサルデザイン(CUD)」を用いた、人にやさしい印刷物「ユニバーサルプリンティング」の普及に取り組んでいます。2014年度も、阪急電鉄(株)のサインデザインに採用されました。

チャリティペーパー

寄付金を含んだ印刷用紙「ワクチンペーパー」を日本紙パルプ商事株式会社と共同で開発し、2008年より「世界の子どもにワクチンを 日本委員会(JCV)」の活動を支援しています。2014年度は、16,338人分のワクチンを贈ることができました。同様の仕組みで、日本赤十字社には「赤十字ペーパー」、公益財団法人日本盲導犬協会には「盲導犬支援ペーパー」を活用することで、各団体の活動を支援しています。この緑字企業報告書も「赤十字ペーパー」を使用しています。